

(参考情報) 韓国農林畜産食品部公表情報

環境部プレスリリース (2014年1月20日)

環境部は、AIに積極的に対応するため、渡り鳥飛来地の調査を強化

出典URL: <http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=338560&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

(機械翻訳等に基づく仮抄訳)

- ・ 環境部 (ユン・ソングユ長官) は、1月18日 (土)、全羅北道高敞 (コチャン) 郡の農家で高病原性AIの発生が確認されたことと、高敞郡一帯で回収された野生の渡り鳥の斃死体の検査の結果、1月20日 (月) にAIであることが確認された (H5N8型、高病原性かどうかは、20日午後に確定予定) ことに伴い、高敞郡地域の渡り鳥の渡来地で精査を行うとともに、全国の渡り鳥の飛来地の野鳥の調査活動強化、狩猟場の運営停止、渡り鳥の餌やり・イベントの中断等を指示した。

- ・ 国立環境科学院は、野鳥の生息地調査、糞便採集 (1~2日間隔)、斃死体を回収*して、農林畜産検疫本部等の専門機関に検査を依頼している。

*1月19日東林 (ドンリム) 貯水池で98羽の野鳥を回収 (農林畜産食品部の27匹を含む) し、19日に検査を依頼。

*斃死体 (98羽) の内訳: オオハクチョウ1羽、ヒシクイ7羽、トモエガモ89羽、オオバン1羽

- ・ 現場調査の結果、東林貯水池 (328ha) で確認された鳥は、トモエガモ等の18種、約20万羽であり、群落のうち、400~500羽を除いてほとんどがトモエガモある。

- ・ 国立生物資源館は、トモエガモなどの野鳥の生息実態、鳥の異常がないかを観察し、トモエガモの正確な移動経路の把握のためにGPSの装着を進めている。

※本情報は、韓国環境部が1月20日に公表した情報について、農林水産省動物衛生課において機械翻訳等に基づき仮抄訳したものです。